

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間
-----	-----	-----	-----	---------	------

☆学習の到達目標

<p>【知識・技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書・副教材 等	「書道Ⅱ」(光村図書)	

☆学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい (評価基準)	時間数
1 学期	○オリエンテーション	4	・年間の授業の進め方および学習方法、座席についての指導。 教材費についての連絡、授業ノートの作成。	23時間
	○刻字の学習 ・表札の制作	5	・表札の制作手順を理解する。	
		6	・書体や書風、構成、刻し方、彩色による表現の効果を理解して、 感興や意図に応じて構想を練る。 ・制作した作品を相互に評価する。	
	○漢字の書 ・篆書の学習		・書風の比較と鑑賞 (様々な年代の篆書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する。	
	・隸書の学習		・書風の比較と鑑賞 (様々な年代の隸書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する。	
	<p>【知識・技能】 ○毎時間の提出作品 (70%) ○授業内容の理解 (30%)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○毎時間の提出作品 (70%) ○毎時間の授業ノートでの振り返り (30%)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業への主体的な参加と取り組み (70%) ○生徒による自己評価 (30%)</p> <p>【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40% : 30% : 30%の割合で総括し、10段階評定とする。</p>			
学期	学習内容	月	学習のねらい (評価基準)	時間数
2 学期	○漢字の書 ・草書の学習	7	・書風の比較と鑑賞 (様々な年代の草書の臨書・鑑賞を通じて特徴を理解する。	30時間
	○半切1/2作品制作	8		
		9	・今まで学習した漢字5書体 (楷書・行書・草書・篆書・隸書) から好きな書体と古典を教科書より選び臨書作品を作る。	
		10	・制作した作品を相互に評価する。	
	○漢字仮名交じりの書	11	・修学旅行の思い出を作品にして制作する。(今までの書の学習を生かした表現で作品制作する。)	
	<p>【知識・技能】 ○毎時間の提出作品 (70%) ○授業内容の理解 (30%)</p> <p>【思考・判断・表現】 ○毎時間の提出作品 (70%) ○毎時間の授業ノートでの振り返り (30%)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業への主体的な参加と取り組み (70%) ○生徒による自己評価 (30%)</p> <p>【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40% : 30% : 30%の割合で総括し、10段階評定とする。</p>			

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価基準）	時間数	
3 学 期	○篆刻の学習	12	<ul style="list-style-type: none"> ・細字作品用の印を制作する。 ・書道 I の篆刻の学習を踏まえ、創作の手順に従って落款印を刻し押印する。 	17 時間	
	○漢字の書（細字）	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を原寸大で臨書する。 ・写経の歴史、技法を学ぶ。 ・自分の現在の願いを込めて写経用紙に清書する。 		
		2			
	【知識・技能】 ○毎時間の提出作品（70%） ○授業内容の理解（30%）				
	【思考・判断・表現】 ○毎時間の提出作品（70%） ○毎時間の授業ノートでの振り返り（30%）				
【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業への主体的な参加と取り組み（70%） ○生徒による自己評価（30%）					
【3 学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を 40% : 30% : 30% の割合で総括し、10 段階評定とする。					
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の 10 段階および 5 段階評定とする。					